



全自交東京

全国自動車交通労働組合

東京地方連合会

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-9

TEL03-3408-0876

FAX03-3408-0880

発行責任者 書記長 直井幸男

2023春闘

コロナ過終息の兆し・運賃改定を背景に

2023春闘 大手4組合妥結

全自交東京地連は、約3年間のコロナ禍で減収、低賃金に耐えてきた。減収分の回復を求めると同時に、急激な物価上昇で安定した生活が維持できない。23春季生活闘争では、賃金の「底上げ」他産業との「格差是正」を強く求める。賃上げをしない限り人材不足改善どころか、他産業への人流出が加速する。

全自交東京地連2023春闘は、

昨年と同様に、昨年の運賃改定による増収や、物価高を背景に期待を掛けて挑んだものの、4月末時点では大手4労・三交労だけの妥結が報告されたところだ。1月に開催された「全自交労連第101回中央委員会」と、2月に開催された「2023関東地連・東京地連春闘

討論集会」と同日行われ

た東京地連中央委員会において、今春闘に取り組むにあたっての方針が確立され、要求書提出と回答指定日の日程などと、統一要求書は第1回中央委員会で確認されたところだが、三権投票を高率で確立することの重要性も、全ての加盟単組で意思統一を図って取り組み

を開始している。

しかし、運賃改定前後に中小労組に対して賃率を下げるなどの、不利益変更の申し入れが経営側から出された。東京地連書記局は全自交労連本部、東京共同法律事務所と連携し対応にあたった。また、団体交渉にも同席し使用者側に対し、運賃改定の目的は、労働環境改

が続けている。

一般の大手春闘では、「満額回答」で応じる企業など軒並み高水準での妥結が相次ぎ、長年続いてきた賃金低迷を脱する可能性を期待させる結果となった。しかし私たちハイタク産業はコロナ禍で営業収入が激減し一時の増収で事業者が浮かれている程度で、甘くはないのが現実である。

が続けている。

23春闘で企業側は、昨の運賃改定を根拠に、賃金の引き下げや一時金の引き下げ、廃止など逆提案をしてきている。国土交通省が認可したタクシー運賃改定の主旨を大きく逸脱した提案だ。まだ未妥結の単組での団交が佳境に入っているが、良い回答が引き出せるよう、交渉団は全組合員と一致団結し奮闘して頂きたい。



23春闘で企業側は、昨の運賃改定を根拠に、賃金の引き下げや一時金の引き下げ、廃止など逆提案をしてきている。国土交通省が認可したタクシー運賃改定の主旨を大きく逸脱した提案だ。まだ未妥結の単組での団交が佳境に入っているが、良い回答が引き出せるよう、交渉団は全組合員と一致団結し奮闘して頂きたい。

東タク協に7項目要望・意見交換

東京ハイタク労働団体要請



東タク協武居副会長に要請書を手渡す見須代表

5月9日(火)、東京ハイタク労働団体の見須一隆代表(全自交東京地連、交通労連、私鉄総連、中労協7名出席)は、東京ハイヤー・タクシー協会(5名出席)に「東京地域のタクシーが直面する諸課題7項目」要請行動を行いました。

経営側代表の武居利春副会長は、大坂維新の会の党第一公約の中にライドシェア解禁という話が出て問題視して危機感を持つている、また、乗務員供給不足に対して、各方面からタクシー業界について利便性を含めた論議がありイコール、ライ

ドシェア解禁と直結されている実態がある。東タク協はどう対応できるのか議論していくと話され、労働側見須一隆代表(全自交東京地連)は、新型コロナウイルス5類移行で、人流が変わりいろんな事業形態が変わる中、労働組合としても新しい考えを持ちながら、労使一体になって努力していくと挨拶されました。要請7項目は、「ライドシェア合法化阻止」「mobilityに対する厳格な対応」「活性化の施策創設にあたり、現場乗務員からヒアリング」

「様々な運賃の撤廃や見直し」「三多摩地区の交通圏統合」「運賃改定時の賃金・労働条件改悪の撤廃」を直井幸男事務局長(全自交東京地連)が

地区連絡会議 活動

東部地区連



4月13日(木)、東部地区連は第2回ボウリング大会をマルアイボウリング場にて開催しました。来賓には東京地連より久我書記次長に起こし頂き、7単組64名16チームで優勝と東京地連ボウリング大会出場権を目指し、選手たちがそれぞれの実力を競い合い熱気あふれる大会となりました。結果は帝都労組墨田支部が優勝、準優勝は日交労千住支部A、三位は日交労千住支部Bとなりました。今回の大会も、東部地区連文化活動の交流を促進するとともに、参加者たちにとっても充実した時間を過ごすことができました。

要請項目を解説しました。活発な意見交換を通じて要請が前進することが期待されます。

第94回メーデー中央大会、2023三多摩メーデー、4年ぶりに規模を戻し、盛大に開催

スローガン
支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる
笑顔あふれる未来をめざし 力を合わせ、ともに進もう

4月29日(土・祝)、第94回メーデー中央大会を東京・代々木公園において全自交東京地連は、コロナ禍以前の水準で動員を掛け、約240人の参加、全体で2万8500人の働く仲間やその家族などが一堂に会して開催しました。

中央式典は、杉浦賢次 中央実行副委員長(連合 東京会長)による開会宣言で始まり、主催者を代表して芳野友子中央実行委員長(連合会長)が挨拶されました。

来賓挨拶では、政府を代表して岸田文雄内閣総理大臣、労働行政を代表



第94回メーデー中央大会



2023 連合三多摩メーデー

全盲のバイオリニスト「穴澤雄介」さんの演奏、展示等、様々な催し物で完結フレッシュのコント、各テントでの模擬店出店、

子ども広場のラリーカーから大和自交労組・日交労・京自労・三交労の60名が参加しました。

三多摩地区連

4月25日(火)、三多摩地区連上辻議長は、山梨県都留市にある西東京ゴルフ倶楽部にて三多摩地区連第8回ゴルフ大会を開催しました。当日は、日交労の溝上執行委員長をはじめ、大和自交労組の森合執行委員長、東京地連から本田書記次長や中央労働金庫、こくみん共済の来賓が参加いただき、総勢52名での大会となりました。上辻議長、来賓の方々があいさつ後、7組がそれぞれOUT・INに分かれスタートしました。プレー後には食事やドリンクを楽しみながら表彰式が行われ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。今後も、文化活動を通じて三多摩地区連に集う組合員の皆さんと交流を深めていきたいと思えます。

優勝は城所和雄さん(京自労つづじヶ丘支部)、準優勝は富澤茂樹さん(三交労大和交通保谷支部)、3位には井出一郎さん(京自労吉祥寺支部)でした。

